

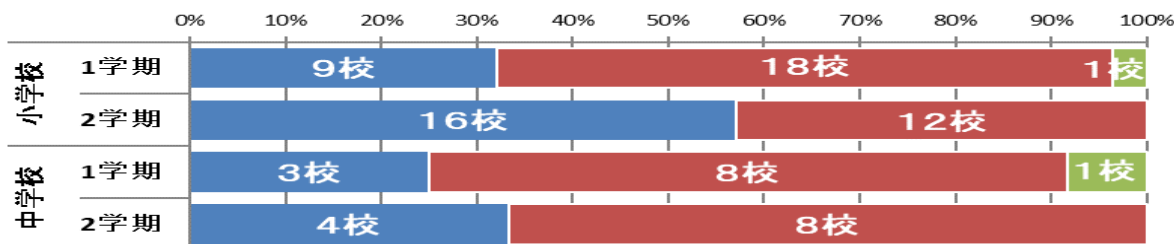
1 いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート（まとめ）について

アンケート項目別集計結果について

※やや課題がある、課題があったとした学校からの意見を併記
《各項目の4評価の割合》

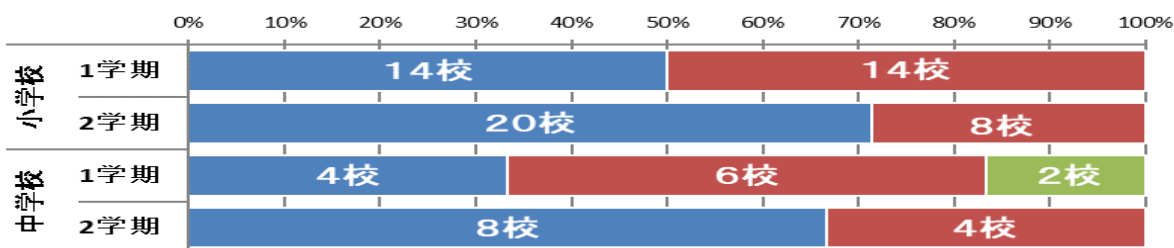


① 互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくりができたか



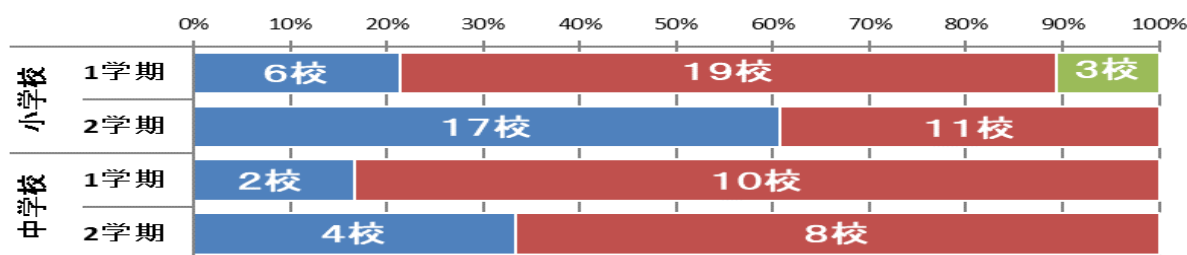
※すべての学校が評価点3以上

② 命や人権を尊重する態度、豊かな心の育成ができたか



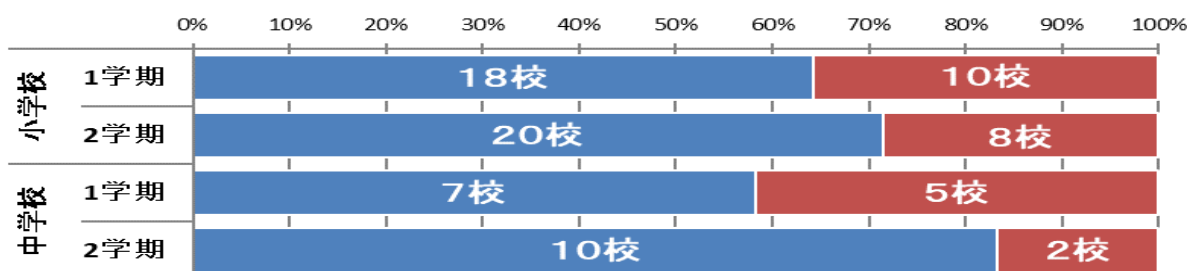
※すべての学校が評価点3以上

③ 家庭や地域への働きかけができたか



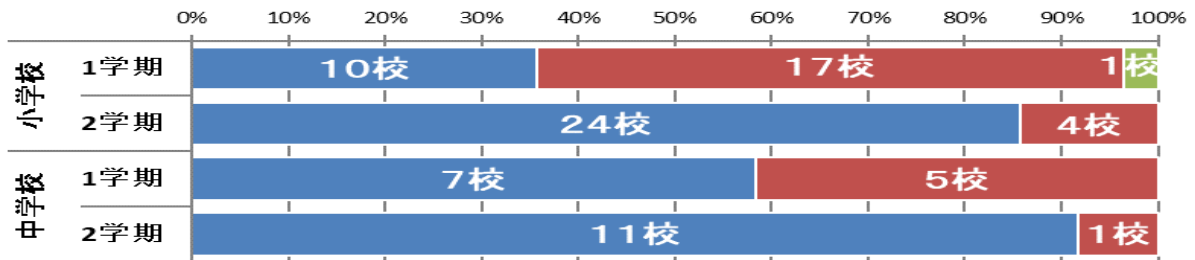
※すべての学校が評価点3以上

④ 学校環境適応感尺度「アセス」が適切に活用できたか



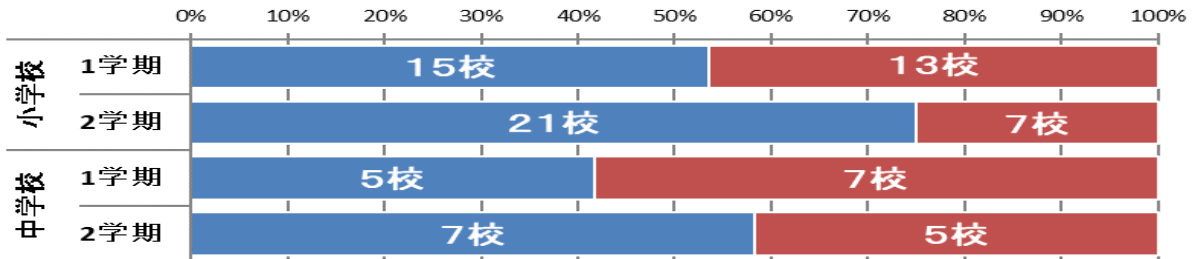
※すべての学校が評価点3以上

⑤ 児童生徒の相談行動の促進ができたか



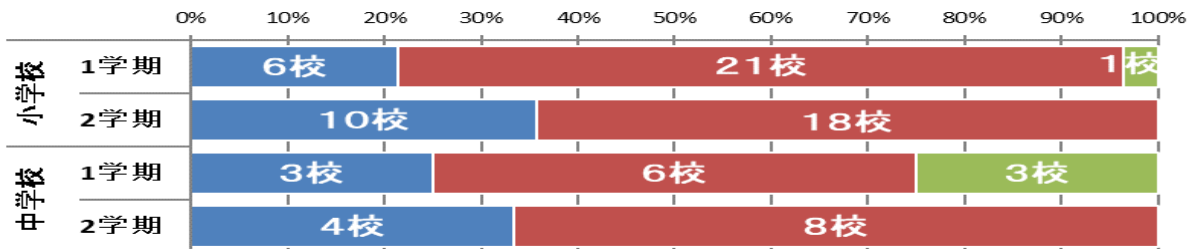
※すべての学校が評価点3以上

⑥ 多方面からの実態把握と情報共有がなされたか



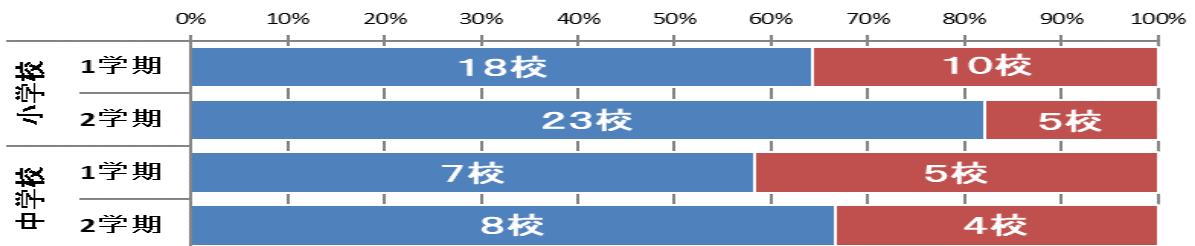
※すべての学校が評価点3以上

⑦ 研修の充実による教職員の資質と指導力の向上がなされたか



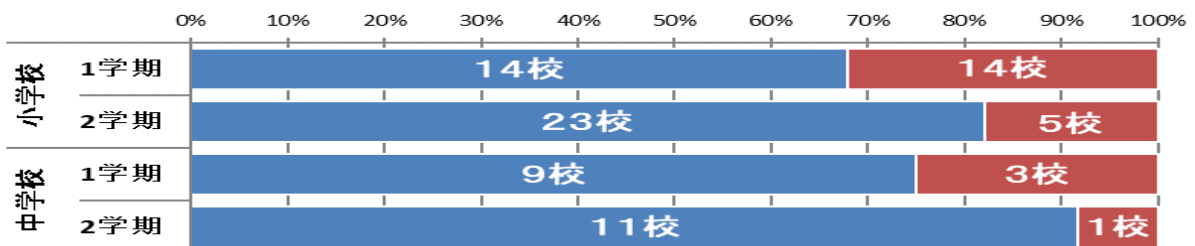
※すべての学校が評価点3以上

⑧ 「チーム学校」による組織的な対応がなされたか



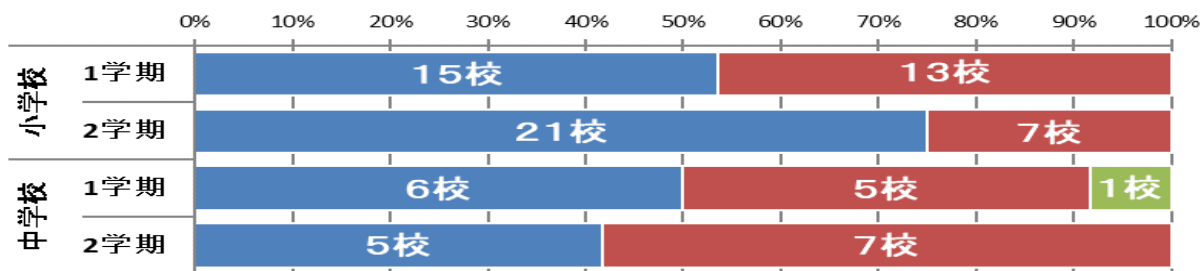
※すべての学校が評価点3以上

⑨ 関係機関との連携を強化した取組がなされたか



※すべての学校が評価点3以上

⑩ 推進体制・検証体制を整える取組がなされたか



※すべての学校が評価点3以上

2 各学校の特色ある取組について（2学期報告）

【小学校】

- SELを学期に1回を基準として実施し、ソーシャルスキルの向上を図っている。
- 「わが家のネットルール」としてインターネットを使用する上での決まりを親子で考えて決めたり、「親子ふれあい情報モラル学習」をしたりすることで、児童の情報モラルの向上と家庭への啓発を行った。
- 心の絆プロジェクト「キラキラの木」として全クラスでいいところ見つけを行い、自己肯定感の高まりを図っている。
- いじめについて考える授業（1年生「はしのうえのおおかみ」2年生「からすのおおさま」3～6年生「わたしのせいじゃない」）の実施、保護者には「人権のおたより」を配布。
- 9月のいじめ防止月間では児童会がいじめ防止啓発ビデオを作成し、友だちの気持ちを大切にすることの大切さを全校に向けて発信した。
- 毎月「心の健康チェック」アンケートを実施して、いじめの早期発見、対応に努めている。
- 「命の一本桜プロジェクト」を実施し、命の大切さについて学ぶ機会を設けた。
- 同じ中学校区内の小学校の子どもたちと定期的に交流を行い、2年後には同級生になる子どもたちとの関係づくりに取り組んでいる。
- 「笑顔のあいさつ広め隊」と称して、有志で児童の自発的なあいさつ運動を行った。あいさつ運動に取り組む児童は自己有用感を高め、その他の児童に関しては、笑顔であいさつを交わすことによって明るい雰囲気です学校生活をスタートすることができるようになった。
- 教育相談センターで勤務経験のある教頭が、教職員を対象の自殺予防研修を行うなど、教職員の資質向上に努めている。

【中学校】

- 「いじめ」に対する教職員の認識をさらに変え、より些細な友人間のもつれやトラブルもいじめとして捉え、いじめの認知件数を増やし、「いじめの見逃しゼロ」を目指している。
- 改めて「いじめ防止対応マニュアル」を全体で周知した。
- 行事を通じて絆づくりの促進やスマイルエピソードを発信することで情操を育む取り組みを行っている。生徒会中心に行った全学年交流によるイベントや季節感を取り入れた学習環境づくりをしている。
- 1学期に引き続き、縦横あいさつ広げよう運動の実施。上級生下級生関係なく挨拶をすることにより繋がりを広げていくようにしている。
- あいさつ王決定戦として普段からあいさつできる子を称賛する取組を行っている。
- 楽しい環境づくりとして、例えば誕生日ごとの集まり（異学年）でイベントをオンラインで生徒会が考え、イベントを実施している。
- 友だちのいいところ見つけるデイとしてクラスからヒーローを見つけて生徒会新聞で紹介している。